

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立八尾翠翔高等学校
校長名	氣賀 聰

開催日時	令和7年6月27日(金)15:30~17:00
開催場所	府立八尾翠翔高等学校 1階 会議室
出席者(委員)	遠藤 信司委員、東野 敏夫委員、小林 孝泰委員
	竹田 孝吏委員、小田 悟委員
出席者(学校)	氣賀校長、末吉教頭、塩崎首席、各学年主任、生徒指導部長、保健部長、教務部長、進路指導部長、総務広報部長、自立支援室長、教育サポート室長、初任者1名
傍聴者	
協議資料	
備考	

議題等(次第順)

1.学校の現状:(校長)

- 新採2名 戦力 担任として活躍。今年度入試 大阪府私立専願32%超え。公立高校2番手高校も定員割れ。私学へ進学という風潮。
- 本校の倍率:0.68→0.75→0.96へ 5クラス募集。結果届かず。8年間で7回定員割れであるが倍率が上がった理由として生徒とともに学校改革を実践してきた結果。生徒が楽しいと思える学校つくり。しかし方針は変えない。「あかんものはあかん」。進路実績は残っている。
- 改革してきたこと:宿泊研修廃止、食堂をコミュニティカフェへ(食堂へ行こうキャンペーン)、体操服登校(熱中症対策)導入、文化祭 キャッシュレス導入等 来年度へ向けて:ラーケーション導入予定。オモロープロジェクト。部活動加入率増加 1年生(80%へ)※井嶋先生が1人ひとり声掛けを行った。
- 大阪府優秀教員1名(2年連続表彰)
- 1年:生活習慣を重点的に取り組む。部活動加入。学校生活への取り組みも前向き 進学主体 学力向上へ。課題のある生徒へのサポートも進めている。
- 2年:学校生活は定着。穏やかな感じ。修学旅行(TDへ)楽しませるときは思いっきり楽しませたい。進路希望も担任中心で、スケジュール帳の活用。
- 3年:体育祭団長副団長からいろいろと提案があり主体的に進んだ。学校生活においては切り替えをちゃんとやろうということで3年間継続。
- 進路希望については最後まで頑張らせる。苦手な生徒については自分の目標に向けて担任 学年団でサポートしていく。
- 生指:ルール改変を行ってきた。「厳しさ」という形は残しながらも声替えをしながらも生活習慣の支援をしながら支援の形を変えている。
- 生徒会G:体育祭無事終了。文化祭:PayPay導入(最適な使い方を模索中)、2日間実施予定。部活動加入率が上がっている一学校が元気になる。
- 保健G:別紙9点(検診結果を生徒へ。病院受診を推進・思春期講座・清掃etc) 安全確認(年2回)避難訓練 10月実施予定(八尾市消防局)、健康管理。
- 教務:校務支援システム(賢者)使用についていろいろな声を引き上げ、整理をしている。
- 進路:「進路実現に向けて」:講習・セミナー・ガイダンスを実施。奨学金の手続きについてはスムーズに行えている。
- 総務広報部:広報に特化するために 名称を変更・人数減に伴い、業務整理。
- 自立支援室(知的障がいコース):進路(自分の力で動いてほしい)については、日頃から「自分でできることは自分でやる。やってもらってあたりまえではない」ということをわかってほしい。
- 学校長より・学校経営計画の趣旨説明および議決
- 使用教科書について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○今年度学校運営競技会 委員長選出:遠藤 信司様 賛成多数により議決された

○学校経営計画について

- 英検・漢検・海外国際交流(英検準2級、2級合格者40名目標
- 「1府立高校1姉妹校」制度へ R8年度交流実施予定 スタディツア(近場)も検討へ。
- 生徒の進路希望実現へ+苦手な生徒へのサポート(考査前)指名講習も実施。両方の目を持つ学校へ
- クラブ加入(中間考査まで)が勝負。1年生学年団の生徒へのアプローチのおかげで、80%へ。
- Team 2025 オモロープロジェクト「何か面白いことをしよう!」教員と生徒の距離を近くへ
- 特別枠入試
- 働き方改革 昨年より5パーセント減少へ(門扉開閉を30分早める等)

- 曙川東小学校校長:Team2025、教員との距離が年齢が上がるにつれて大人の会話になる。それが成長である。小学生であるが心の距離が近づけたらしいと思った。
- 曙川南中学校校長:昨年より大きな変化を感じられる。クラブの加入率があがった。どのような取り組みをしたのか、きっかけはあったのか? アルバイトをするから部活に入らないせいとが多かった→(意識)変えることができるんだなど感じた。どうやって生徒の主体性をのばすのか?オモロープロジェクトは本校も採用している。きっかけは昼休みのコンサート、テーマを決めて実施。「○×クイズ」「警・泥」(200名参加)等炎天下の中、盛り上がった。行きたい学校になるにはいろんな切り口がある。子どもが主役になれる学校になってほしい。
- 山本(恭)先生: 一番大きいのは1年生の学年の取り組みだと思う。流される生徒が多いが。2.3年については広報・教化指導クラブ等の宣伝の影響ではないか。面談をすることによって、流れでアルバイトをするということを止めることができた。クラブに入るタイミングを失う生徒も多かった。生徒もHPブログを使って宣伝をしてくれている。→退部を防いでいる。
- PTA会長:私立無償化については保護者間では知らない人が多い。入学金等の初期費用は高額だが、公立に行けばよかったですという声は届いているのか?
- 校長:2年生までが無償化。入学金は別。大阪府が先駆けて無償化。私立のことなのでどのような意見がでているのかという把握はできていない。

次回の会議日程

日時	令和7年10月30日(木)15:30~
会場	府立八尾翠翔高等学校 1階 会議室